



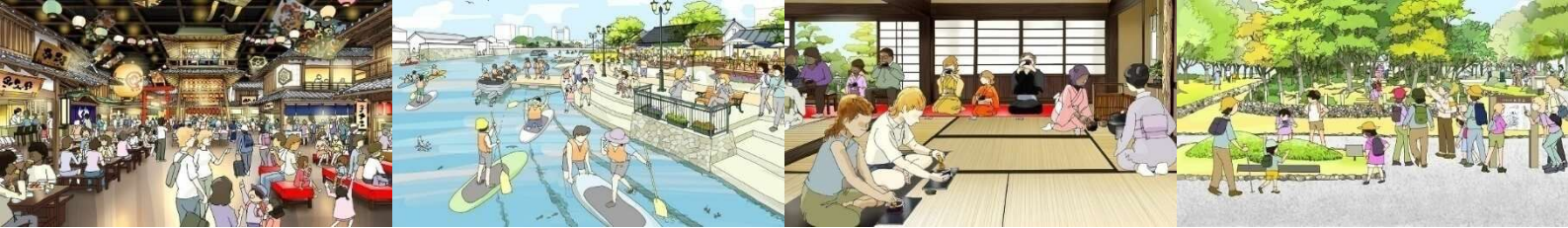
熱田神宮周辺
まちづくり
未来ビジョン

令和8年度～10年度 アクションプログラム



令和8年3月

熱田神宮周辺エリアプラットフォーム



はじめに ～地域経営（マネジメント）を目指して～

『共に紡ごう、熱田の想いを』

熱田のまちづくりを担う企業、団体、大学が集結。悠久の歴史、深奥な文化、そして人々の優しさと誇り。熱田に関わるすべての人々の想いを共鳴させ、私たちは新たな物語を紡ぎ、次世代へと語り継ぎます。

この合言葉のもと、令和7年1月29日に「熱田神宮周辺エリアプラットフォーム」は発足しました。同年3月の「未来ビジョン」策定を経て、3つのワーキンググループに分かれ1年に及ぶ議論の末、私たちは実効性を追求した「アクションプログラム」*を完成させました。

私たちが目指すのは、単なる「計画の策定」ではありません。地域活動から「共創・支援型エリアマネジメントによる地域経営」への第一歩として、取組主体・事業内容・期限を明確化しました。そして、このプログラムを起点にPDCAサイクルを回し、着実な成果を積み上げていくことを約束します。

* 国土交通省が所管する「官民連携まちなか再生推進事業」制度に基づく「未来ビジョン」に位置づけられるものとして策定されています。

悠久の歴史を誇る熱田神宮周辺エリアは、令和の幕開けとともに大きな変革期を迎えました。令和2年の熱田神宮駅前地区まちづくり協議会の再開発構想、令和4年の熱田湊まちづくり協議会による回遊性向上構想の承認など、熱田各地でまちづくりが着実に動き出しました。また、令和6年の名古屋鉄道株式会社による門前町風の商業施設「あつたnagAya」開業や、翌令和7年の株式会社MTGの本社ビル・商業施設建設計画など、民間投資も活発化しています。

こうした機運が高まる一方で、各主体の取り組みは個別・局所的な「点」の活動に留まっていました。この課題を解決し、熱田全体のポテンシャルを最大化させるべく、熱田でまちづくり活動を続けてきた「あつた宮宿会」と名古屋学院大学、そして名古屋市が中心となり、令和5年1月に観光まちづくりを見据えた勉強会を発足させました。

その後、志を同じくするメンバーを拡充し、令和7年1月に、多様な主体が参画する官民連携の組織「熱田神宮周辺エリアプラットフォーム」を設立しました。

「熱田神宮周辺エリアプラットフォーム」とは

エリアプラットフォーム発足式（令和7年1月29日）



発足記念シンポジウム（令和7年9月20日）



目次

1. 熱田神宮周辺まちづくり未来ビジョン	1
2. アクションプログラムの3つのテーマ	2
テーマ1 回遊性を高める「手段」と「経路」づくり	3
テーマ2 熱田を感じられる「場」と「雰囲気」づくり	10
テーマ3 賑わいを生む「舞台」と「担い手」づくり	15
3. 熱田神宮周辺のまちづくり推進体制	20
4. アクションプログラムの進捗管理	21

1. 熱田神宮周辺まちづくり未来ビジョン

- 熱田神宮周辺のまちづくりを明確なビジョンを持って計画的に進めるために、令和7年3月に「熱田神宮周辺まちづくり未来ビジョン」（以後、未来ビジョン）をとりまとめました。
- 未来ビジョンに掲げる「共に紡ごう、熱田の想いを」という理念のもと、地域に根ざした活動を、持続的な地域経営へと発展させていくため、本アクションプログラムを追加策定しています。
- 未来ビジョンが描く概ね10年後の姿を見据えつつ、その第一歩となる最初の3年間を「試行と実装の期間」と位置付け、官民連携による具体的な取組内容と推進主体を明確化しています。
- これにより、個別に行われてきた地域活動を、戦略性と継続性を備えた取組へとまとめ上げ、将来的な自走型の地域経営につなげていくため、地域の想いや資源を活かし、まちを「運営する」視点を育てていくための行動指針として、本プログラムは重要な役割を担うものとなります。

■熱田神宮周辺まちづくり未来ビジョンについて

まちづくりの合言葉

共に紡ごう、熱田の想いを

熱田神宮の周辺エリアに住む人たち・働く人たち、そして縁(ゆかり)を持つ人たちは、それぞれ「熱田」に寄せる想いを抱えています。熱田神宮周辺エリアならではの「まちの楽しさ」「歴史の厚み」「文化の奥深さ」「人々の優しさ」「水辺の心地よさ」「豊かな緑」への誇り、憧れ、愛着、懐かしさ…熱田に関わる人がそれぞれに自分の心の内に持っている「想い」をお互いに共鳴させながら、新たなまちの物語を紡ぎ、次の世代へ伝えていきたい。

そのような想いを込めて〈共に紡ごう、熱田の想いを〉をまちづくり未来ビジョンの合言葉にしました。

まちづくりの方針と取組みの方向性

方針1 歴史と文化を体感する熱田神宮を中心とした観光まちづくりの推進

- [ハード] ①熱田らしさを感じる市街地の整備
②誰もが移動しやすい回遊ネットワークの形成
- [ソフト] ③熱田ならではの観光・交流資源の磨き上げ
④戦略的な情報発信

方針2 人々をもてなし多様な交流を促進する現代の門前町・宿場町の形成

- [ハード] ①駅周辺再開発の展開による交流拠点の形成
②民間活力を活用した都市機能の集積・都市空間の形成
- [ソフト] ③多様な人材の交流を促進する仕掛けづくり

方針3 過去から未来へと人の営みをつなげ育むエリアマネジメントの展開

- [ソフト] ①まちづくり会社によるまちづくり活動の本格化
②まちづくり人材の発掘・担い手づくり
③エリアプラットフォーム会員の支援
④公共空間の利活用による魅力的な場づくり

※各方針の実現に向けた取組の方向性は、ハード整備を伴う取組と、情報発信等のソフトの取組に分けて整理しています。

■未来ビジョンのロードマップ



■都市再生推進法人について
都市機能の高度化及び都市の居住環境の向上を図り、まちづくりを推進することを目的とする団体に対して、公的な位置づけを与えることにより、まちづくりの担い手として活動を支援する制度のこと。
令和7年3月に設立した「あつた宮宿エリアマネジメント株式会社」の令和8年度初頭において都市再生推進法人の指定を受けることができるよう申請を進めています。

令和8年度からの最初の3年間のアクションプログラムをつくり、着実に実施します。

2. アクションプログラムの3つのテーマ

- 本アクションプログラムは、未来ビジョンにおけるまちづくりの方針の実現に向けた取組を「アクション」として具体化するものです。
- それぞれの方針に合わせた【今後3年間で実現していく】ためのテーマを設定し、それぞれのアクションの方向性を整理しました。次頁よりテーマごとに具体的なアクションを示します。
- また、これらのアクションを着実に推進していくために令和7年に立ち上げた【熱田神宮周辺エリアプラットフォーム】及び、実働組織としての【あつた宮宿エリアマネジメント株式会社】を、今後のまちづくりの推進体制と位置付けて、PDCAサイクルに基づき取組みを推進します。

周遊交通・観光コンテンツ

テーマ1

回遊性を高める 「手段」と「経路」づくり

主に、未来ビジョン「誰もが移動しやすい回遊ネットワークの形成」の具体的なアクションとして、シェアサイクルや巡回バス等を使った移動の「手段」や、熱田ならではの観光を楽しめる「経路」を創ります。

一方、熱田神宮周辺の交通混雑等の課題への対応となるアクションも展開します。

■アクションの方向として…



熱田エリアでシェアサイクル事業を展開し、移動の足として定着



巡回バスを継続しながら暮らしでも観光でも使える交通環境を形成



交通混雑対策として年始の臨時駐車場事業を展開

推進体制

熱田神宮周辺エリアプラットフォーム
+ あつた宮宿エリアマネジメント株式会社

建物等リノベーション・景観デザイン

テーマ2

熱田を感じられる 「場」と「雰囲気」づくり

主に、未来ビジョン「熱田らしさを感じる市街地の整備」の具体的なアクションとして、空き家等をリノベーションしながら「場」を創ったり、旧東海道・美濃路の再整備や沿道景観の形成による熱田の歴史を感じられる「雰囲気」を創るためのアクションを展開します。

■アクションの方向として…



古い空き家をリノベーションして、新たなまちの賑わいづくりを推進



沿道も協力して雰囲気づくりを進めつつ、歴史風情のある道路景観形成を推進

公共空間・担い手づくり

テーマ3

賑わいを生む 「舞台」と「担い手」づくり

主に、未来ビジョン「まちづくり人材の発掘・担い手づくり、公共空間の利活用による魅力的な場づくり」の具体的なアクションとして、民間施設だけでなく、公園や道路、公共施設等もまちづくりの「舞台」として活用しながら、またその舞台でチャレンジしたい新たな「担い手」を育てていくためのアクションを展開します。

■アクションの方向として…



堀川でのSUP体験やクルーズイベントを継続しながら定期イベントとして定着



お祭りや沿道住民による花壇の管理など、地域での活用を推進

熱田神宮周辺エリアプラットフォームを中心にまちづくりの方向性を定め、具体的取組を推進していきます。
あつた宮宿エリアマネジメント株式会社はその事務局として、また都市再生推進法人としてのまちづくり活動に取組みます。

テーマ1 回遊性を高める「手段」と「経路」づくり

(1) 実現に向けたロードマップ

- 熱田神宮や国際会議場などに訪れた人々の賑わいを、熱田エリア全体の賑わいに昇華していくために、歩くには少し遠い場所にも気軽に行ける「手段」として、シェアサイクルや巡回バス等の周遊交通を充実します。
- また、駅周辺の再開発等を契機とした一層の魅力づくりを進めながら、鉄道事業者等との連携の中で広域的な集客力向上を視野に新たな観光コンテンツの提供に取組みます。
- ただし、熱田神宮周辺における年始の交通混雑により、来訪者だけでなく住民の生活にも支障が出ている中で、行政や商業施設等と連携した効果的な駐車対策に取り組むなど、交通に関わる地域課題の解決も積極的に取り組んでいきます。

	令和8年度	令和9年度	令和10年度	取組主体
アクション① 熱田神宮周辺の交通混雑対策	市の未利用地を活用した臨時駐車場事業の実施			あつた宮宿エリアマネジメント株式会社 イオンモール熱田 名古屋市
	商業施設の大規模駐車場を活用した臨時駐車場事業の実施 (イオンモール熱田大規模駐車場の活用)			
		駐車場事業のエリアマネジメント原資の安定収益化の実現		
アクション② 暮らしでも観光でも便利な周遊交通の充実	熱田エリアでのシェアサイクル事業の展開 (公共用地を活用したポート設置等)			あつた宮宿エリアマネジメント株式会社 イオンモール熱田 名古屋市
	持続可能な巡回バスの運行の仕組みづくりと利用促進			
		周遊交通の利用促進に向けたイベント・情報発信 (地域でのイベント時でのアナウンス含む)		
アクション③ 熱田外苑を巡る観光コンテンツの充実	熱田外苑の観光資源・集客施設等の整備・活用 (MTG本社/パブリックエリア、MTG名古屋四季劇場、歴史資源など)			株式会社MTG あつた宮宿会 あつた宮宿エリアマネジメント株式会社 名古屋市 名古屋観光コンベンションビューロー 名古屋鉄道株式会社 東海旅客鉄道株式会社
	MICEのアフターコンベンション会場の提供・イベントの開催			
	鉄道と連動した新たな観光コンテンツの提供 (熱田エリアのブランディング、旅行商品化など)			
アクション④ 熱田の魅力を発信する情報コンテンツの充実	デジタルサイネージの設置	サイネージ及びホームページの継続運用・情報更新		あつた宮宿エリアマネジメント株式会社 名古屋鉄道株式会社 名古屋商工会議所 名古屋学院大学 名古屋市
	ホームページの開設・公開		広告収益確保に向けた検討	
	熱田エリアの魅力を伝えるプロモーション等の実施 (名古屋商工会議所との連携事業等)			

令和10年度末に実現したいこと

- ① 臨時駐車場事業の改善（交通混雑対策、収益化の推進等）
- ② シェアサイクル・巡回バスの定着（利用促進、持続的事業運営の仕組み検討等）
- ③ 熱田エリアを巡る周遊観光に関するイベントの開催
- ④ デジタルサイネージ・ホームページの運用

(2) 周遊交通・観光コンテンツの未来のイメージ

- 熱田神宮、あつたnagAyaなどに集中する賑わいを、熱田エリア全体の賑わいに広げていくために、シェアサイクルや巡回バスなどの周遊交通の持続と活用の推進を図るとともに、地域に存在する魅力的な資源を見つけ、育て、活用していきます。
- 一方で現状として、熱田神宮周辺の交通混雑対策や、周遊するには不便な交通状況等の課題があることから、現状課題の改善から段階的に進めていくものとします。



【イメージ】

交通混雑対策、周遊交通の手段の不足等の地域課題の改善が進んでいる状態

【具体事業】

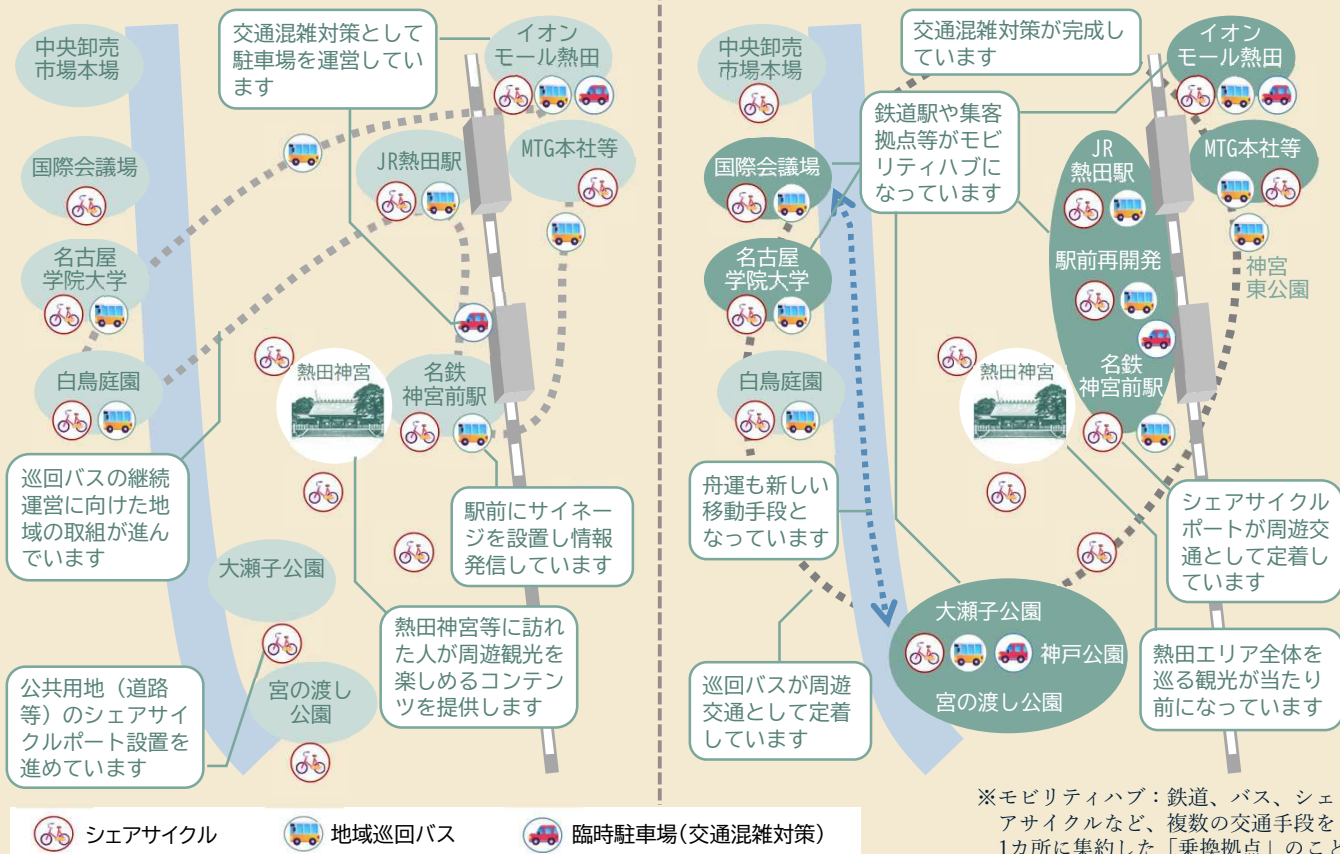
- ①交通混雑対策（臨時駐車場事業、商業施設駐車場の活用推進等）
- ②観光コンテンツと連動したシェアサイクルポートの設置（公用地活用を含めて）
- ③巡回バスの継続運営（有料化検討等）
- ④駅・集客施設等での周遊観光情報の発信
- ⑤鉄道事業者と連携した観光コンテンツ提供

【イメージ】

鉄道、観光バス、自動車などの交通手段で訪れてもシームレスに周遊交通が使える状態

【具体事業】

- ①鉄道駅、集客施設等でのモビリティハブ※の形成（鉄道駅周辺、集客施設等）
- ②シェアリングサービスの定着（シェアサイクル、マイクロモビリティ等）
- ③年始の交通混雑対策の定着
- ④モビリティハブでの周遊情報の発信
- ⑤エリアMaaSの普及・定着



(注)この図は各段階での未来のイメージを示したものであり、具体的な実施を確約するものではありません。

アクション①

熱田神宮周辺の交通混雑対策

概要

- 熱田神宮周辺の自動車、観光バスによる渋滞等の交通混雑に対して、年始に過度に集中する自家用車・観光バス駐車場事業に取り組めます。
- エリアマネジメント株式会社実施する未利用の公共用地を活用した臨時駐車場に加え、商業施設と連携した臨時駐車場及び送迎シャトルバスの運行を行います。

主な取組

■市の未利用地を活用した臨時駐車場事業

〔取組主体〕 あつた宮宿エリアマネジメント株式会社★、名古屋市住宅都市局

- 市の未利用地を活用して社会実験として取り組んできた実績を活かし、年始における自動車・観光バス臨時駐車場社会実験を継続し、改善に取り組めます。
- 将来的なエリアマネジメントの安定的な収益源としての運用を視野に、取組の効率化等の改善を進めます。

■商業施設の大規模駐車場を活用した臨時駐車場事業の実施

〔取組主体〕 あつた宮宿エリアマネジメント株式会社★、イオンモール熱田

- イオンモール熱田と連携し、商業施設大規模駐車場と無料シャトルバス運行による社会実験を持続可能な仕組みとして改善を図り、年始の交通混雑対策として定着できるように、事業化を検討し実践します。

★：取組主体のうち、中心となって事業を推進するリーダー役を示します。



(注)この図はイメージであり、実際とは異なる場合があります。

熱田神宮周辺交通混雑対策の社会実験

年始の熱田神宮周辺は初詣に訪れる自動車や観光バスで混雑します。令和8年1月は混雑緩和のため熱田神宮駐車場を閉鎖（1月18日まで）し、エリアマネジメント株式会社及びイオンモール熱田による臨時駐車場を社会実験として実施しました。



イオンモール熱田と熱田神宮を結ぶシャトルバスを1月1日～4日まで運行。駐車場にとめてシャトルバスで移動する新たな動きを生み出しました。



市の未利用公共用地を活用し、1月1日～3日まで観光バス、自家用車の駐車場を社会実験として運用しました。

アクション②

暮らしでも観光でも便利な周遊交通の充実

概要

- 熱田神宮や国際会議場、イオンモール熱田等の集客施設に訪れた人等が、地域にある色々な観光資源に訪れやすくなるよう、周遊交通の持続的な運行に取組みます。
- 公共用地も含めたシェアサイクルポートの整備や、巡回バスの利用促進や有料化等による持続可能な仕組みへの転換等に取組みます。

主な取組

■熱田エリアでのシェアサイクル事業の展開

[取組主体] あつた宮宿エリアマネジメント株式会社★、名古屋市住宅都市局

- 都市再生推進法人の指定及び都市再生整備計画の提案・作成により、公園や道路等の公共用地を含めたポート設置を推進します。

■持続可能な巡回バスの運行の仕組みづくりと利用促進

[取組主体] イオンモール熱田、あつた宮宿エリアマネジメント株式会社★

- イオンモール熱田から熱田エリアの各施設を巡る無料巡回バスについて、持続可能性を高めるための有料化の検討や、地域と連携した利用促進に取組みます。

■周遊交通の利用促進に向けたイベント・情報発信

[取組主体] あつた宮宿エリアマネジメント株式会社★

- 熱田エリアの集客施設やイベント等での交通アクセス手段としての周知や、周遊交通を活用したイベント等を通じ、認知度の向上を図ります。

★：取組主体のうち、中心となって事業を推進するリーダー役を示します。

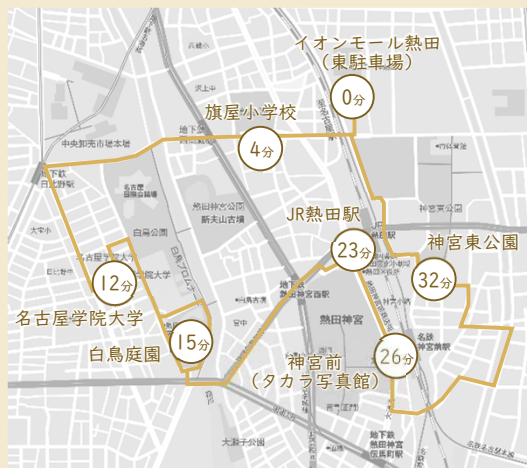


(注)この図はイメージであり、実際とは異なる場合があります。

イオンモール熱田 無料巡回バス (AJB：熱田巡回バス) 事業について

イオンモール熱田では、熱田エリアの生活利便の向上に資する無料巡回バスを運行しています。

この取組は、あいち商業・地域貢献活動大賞 令和6年度・特別賞を受賞しています。



利用料金：無料

運行本数：1日7便

運行時間：11時～18時出発
(13時台運休)

運行経路：イオンモール熱田を毎正時に出発し、エリア6バス停を巡回(1周約40分)

※利用条件として、乗車/降車のどちらかがイオンモール熱田であること。



アクション③

熱田エリアを楽しむ観光コンテンツの充実

概要

- 令和7年にスタートした熱田外苑プロジェクトと連動し、株式会社MTG本社パブリックエリアやMTG名古屋四季劇場などの新たな魅力スポットを活用していきます。
- 国際会議場でのMICE参加者に対する熱田外苑の魅力の周知や、交通事業者（名鉄、JR東海）と連携した新たな観光コンテンツの開発やマイクロMaaSの活用など、拠点に集まる人々の活動を面的に広げていく取組を展開していきます。

主な取組

■熱田外苑の観光資源・集客施設等の整備・活用

[取組主体] 株式会社MTG★、あつた宮宿会

- MTG本社のパブリックエリアやMTG名古屋四季劇場等の新たな魅力施設を、熱田外苑に広がる新たな観光コンテンツの核として活用していきます。

■MICEのアフターコンベンション会場の提供・イベントの開催

[取組主体] あつた宮宿エリアマネジメント株式会社★、名古屋市観光文化交流局、名古屋観光コンベンションビューロー

- MICE参加者の熱田外苑観光を促進するため、MICE開催時のアフターコンベンション会場の提供や地域イベントの開催を企画・調整し、実施します。

■鉄道と連動した新たな観光コンテンツの提供

[取組主体] 名古屋鉄道株式会社★、東海旅客鉄道株式会社★

- 鉄道事業者と連携した鉄道＋熱田外苑観光の新たな旅行商品の開発等を推進します。

★：取組主体のうち、中心となって事業を推進するリーダー役を示します。



(注)この図はイメージであり、実際とは異なる場合があります。

熱田外苑プロジェクトについて

熱田神宮周辺を歴史・文化・伝統が根付く「熱田外苑」と捉え、歴史ある熱田神宮と呼応しながら、人の新たな巡りを生み出すことで、活気に満ちたにぎわいあふれるエリアを創出するプロジェクト。



[プロジェクト委員会メンバー]

あつた宮宿会
株式会社MTG
名古屋鉄道株式会社

[プロジェクト発表]

令和7年7月14日

[プロジェクトの方向性]

MTG本社パブリックエリアやMTG名古屋四季劇場の新設を契機に、あつた宮宿会の生み出してきた街の賑わい、名鉄神宮前再開発によるまちの人の巡りを未来につなぎ、まちの可能性を広げていく。

アクション④

熱田の魅力を発信する情報コンテンツの充実

概要

- 熱田神宮や国際会議場等を目的に訪れた人々に熱田エリア全体としての魅力を伝え、まち巡りを楽しんでもらえるように、情報コンテンツの充実を図ります。
- 出かける前や現地での情報収集など色々な場面で情報にアクセスできるよう、専用ホームページの作成やデジタルサイネージの設置等に取り組めます。
- また、熱田外苑に関するセミナーの開催やプロモーションの展開など、多様な場面で情報発信を行います。

主な取組

■ デジタルサイネージの設置

[取組主体] あつた宮宿エリアマネジメント株式会社★、名古屋鉄道株式会社

- 観光客等が現地で情報を取得できるよう、名古屋鉄道株式会社と連携し、鉄道駅でのデジタルサイネージの設置を進めます。

■ 専用ホームページの作成・公開

[取組主体] あつた宮宿エリアマネジメント株式会社★

- エリアプラットフォームのさまざまな情報を提供する専用ホームページを作成、公開するとともに、熱田の歴史文化、食に関する情報提供サイトとの連携を図り、熱田の魅力を効果的に発信します。

■ 熱田の魅力を伝えるプロモーション等の実施

[取組主体] 名古屋商工会議所、名古屋学院大学、名古屋市観光文化交流局、熱田区役所、あつた宮宿エリアマネジメント株式会社★

- 熱田の魅力を伝えるセミナーやプロモーション等について、各事業主体が得意分野を活かして取組むとともに、ホームページ等で情報発信します。

★：取組主体のうち、中心となって事業を推進するリーダー役を示します。



(注)この図はイメージであり、実際とは異なる場合があります。

熱田ブランド (atsuta brand)

“熱田”という地域そのものをブランド化しようという取組。

地域住民が「誇りや郷土愛」を持って住み続け、さらに「憧れを持って注目されるまち」として発展していくことをめざしています。熱田の魅力を発信するためのブランドマークをつくり、様々な情報を発信しています。

熱 待 君
田 つ ま
を
ち



■ 熱田ブランド+ (プラス)

<https://www.ngu.jp/atsuta-brand-plus/>



ホームページ



Instagram



■中央卸売市場本場周辺

中部圏の拠点市場として中核的役割を担う中央卸売市場本場と連携しながら、熱田エリアの新たな「食」の魅力スポットの創出を模索していきます。



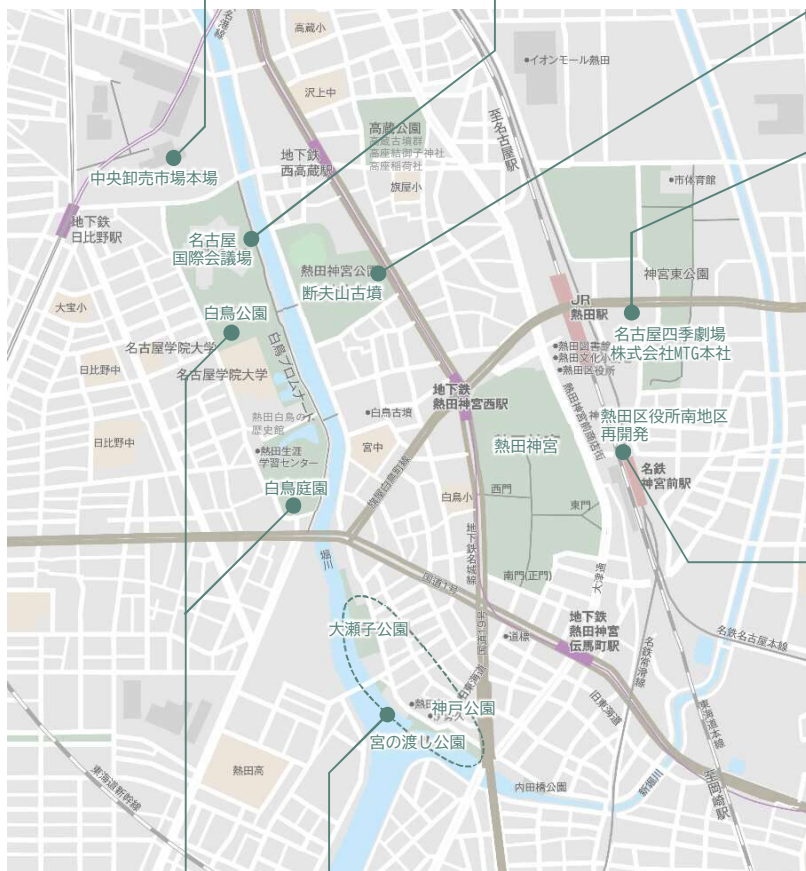
■名古屋国際会議場

中部圏有数の大規模多目的ホールとしてMICE開催時に多くの人々が集まります。余暇時間に熱田巡りを楽しんでもらう等の連携を進めていきます。



■断夫山古墳

6世紀初頭の前方後円墳で、国の史跡に指定されており、東海地方最大級の規模を誇る、断夫山古墳では保存活用計画が検討中であり、活用面での連携を進めていきます。



■MTG本社パブリックエリア

JR熱田駅東側に、株式会社MTG本社ビルおよび商業施設、その南側にMTG名古屋四季劇場といった新たな賑わい施設の整備が進んでいます。



■熱田区役所南地区 再開発

熱田区役所南地区では再開発に向けた検討が進んでおり、将来の駅前での新しいまちの形成が期待されます。



■白鳥庭園・白鳥公園

国際会議場から白鳥庭園までつながる安らぎのある空間であり、熱田湊の公園群との堀川によるつながりを意識しながら一層の活用を進めていきます。



■熱田湊の公園群

宮の渡し公園や大瀬子公園、神戸公園など、今後の公園再整備や歴史資源の復元、イベントでの活用等も見据えて、一層の魅力化を進めていきます。



■近隣商店街等

熱田エリアの周辺にも、内田橋商店街を始めとした魅力的な商店街等があります。近隣商店街等とも連携しながら、にぎわい創出を図っていきます。



■浜鳥居

江戸時代、「宮の渡し」の象徴であり、広重の浮世絵にも刻まれた「浜鳥居」。あつた宮宿会では、この歴史的ランドマークを復元し、地域の誇りを取り戻すための活動を推進しています。



(注)このページは、アクションプログラム策定のワークグループの意見をまとめたものです。実現を確約するものではありません。

テーマ2 熱田を感じられる「場」と「雰囲気」づくり

(1) 実現に向けたロードマップ

- 地域に点在する空き家等を積極的に活用しながら、新たな賑わいを生む店舗へのリノベーションや新たな居住者の確保につながる住宅へのリフォームなどを進めていくために、まずは地域の空き家等に関する情報収集を行い、建物リノベーションの試行に繋げるとともに、持続可能な事業にするための仕組みづくりを進めていきます。
- また、熱田神宮正門（南門）から繋がる旧東海道や美濃路について、歴史的風情の感じられる歩行者優先の道路としての再整備に向けて、地域の合意形成を図りながらまちなみ景観ガイドラインや道路整備方針を策定していきます。
- これらの取組を通じて、民地でも、道路でも、熱田らしい賑わいのあるまちをつくるための動きを加速していきます。

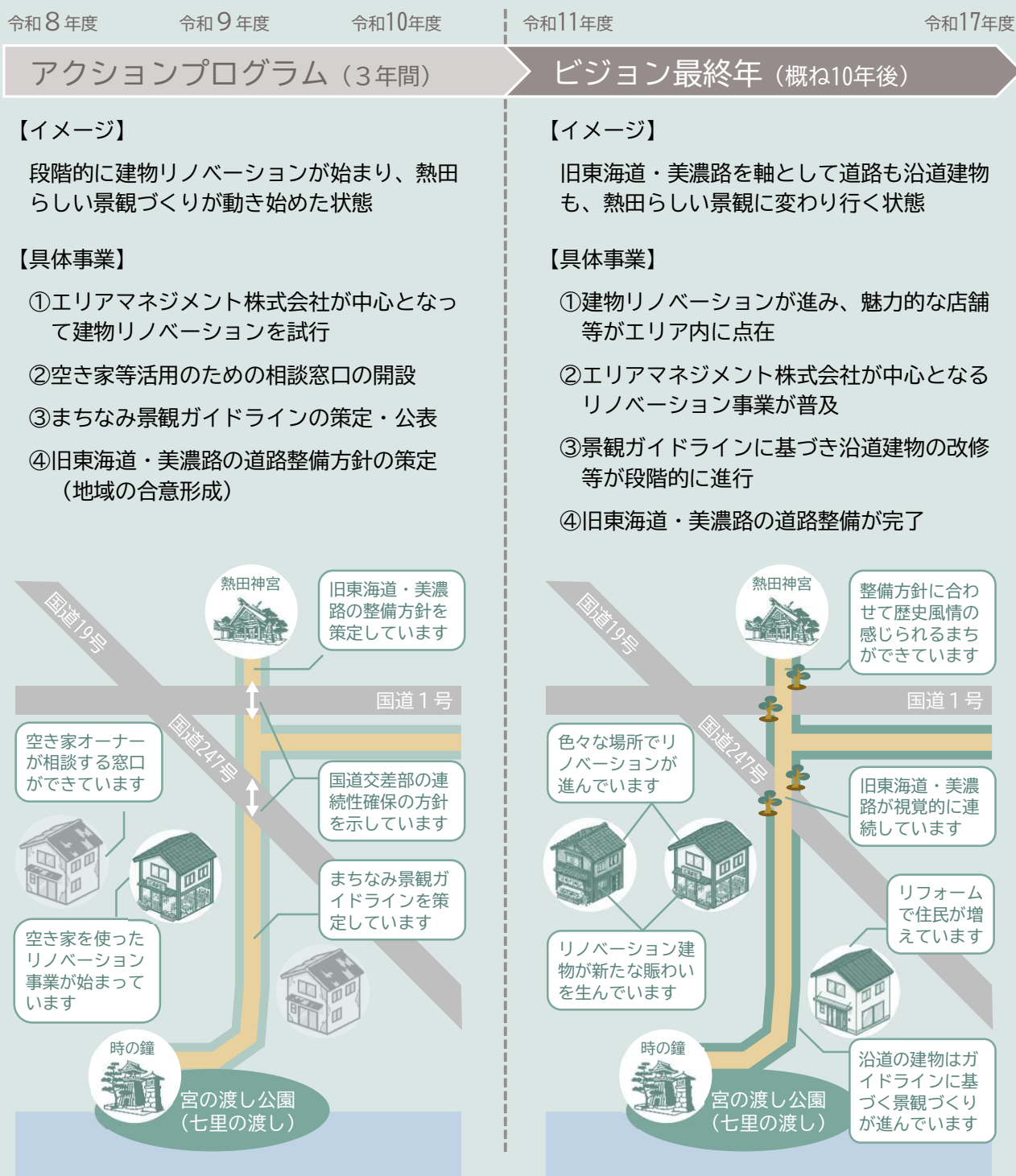
	令和8年度	令和9年度	令和10年度	取組主体
アクション① 空き家等の建物リノベーション事業の展開	空き家等の候補物件のリストアップ 空き家活用の相談窓口の設置	建物リノベーションの試行 （オーナー・出店希望者の仲介、リノベーション設計・実施など） 相談窓口の運用	建物リノベーション事業の効率的な仕組みづくり	あつた宮宿エリアマネジメント株式会社 都市再生機構中部支社 熱田湊まちづくり協議会
アクション② 旧東海道・美濃路のまちなみ景観向上の展開	まちなみ景観向上に関する会議の開催 まちなみ景観ガイドラインの検討・協議 （地元等との合意形成等の調整を含む） 旧東海道・美濃路の道路整備方針の検討・協議 （地元等との合意形成等の調整を含む）			景観ガイドライン及び道路整備方針の策定・公表 あつた宮宿エリアマネジメント株式会社 熱田湊まちづくり協議会 名古屋市

令和10年度末に実現したいこと

- ① 建物リノベーションの実現（1施設程度）
- ② 空き家等の活用に関する相談窓口の開設
- ③ まちなみ景観ガイドラインの策定
- ④ 旧東海道・美濃路の道路整備方針の策定

(2) 建物リノベーション・景観デザインの未来のイメージ

- 東海道最大の宿場町であり、湊町・漁師町でもあった熱田らしい雰囲気を感じられるよう、おもてなしの精神を持った建物リノベーションを各地で起こし、旧東海道・美濃路では沿道建物の景観づくりとともに視覚的連続性の確保や美装化を進め、来訪者や地域住民にとって魅力的な空間の実現を目指します。
- 一方で現状として、空き家等が散見されるもののオーナーとの接触が困難な状況や、住宅地としての土地利用が進み歴史的な街並みがあまり感じられない等の課題があることから、地元等の対話を通じて、できることから取り組んでいくものとします。



(注)この図は各段階での未来のイメージを示したものであり、具体的な実施を確約するものではありません。

アクション①

空き家等の建物リノベーション事業の展開

概要

- 熱田エリアに点在する空き家等をリノベーションして、新たな魅力スポット等として再生する取組を推進します。
- エリアマネジメント会社を中心となって、空き家等のオーナーとの調整や、建物を活用したい希望者の要望を踏まえたリノベーションを行いながら、居住者の確保や賑わい施設、憩いの拠点の確保等につなげていきます。

主な取組

■ 空き家等を活用した建物リノベーションの試行

[取組主体] あつた宮宿エリアマネジメント株式会社★

- 空き家等の調査や募集に関する情報発信を通じて活用可能な建物を確保し、入居・出店等希望者の要望を踏まえながら、エリアマネジメント株式会社等によるリノベーションを試行します。

■ 空き家等の活用に関する相談窓口の設置と仕組みづくり

[取組主体] あつた宮宿エリアマネジメント株式会社★、熱田湊まちづくり協議会、都市再生機構中部支社

- 地域住民やまちづくり団体、自治会・町内会等との一層の信頼関係を構築しながら、空き家等の情報が集まりやすくなるよう、リノベーション相談窓口を設置します。並行して、空き家等の利活用希望者からの相談も受け付け、空き家等オーナーとのマッチングを行います。
- 相談窓口を運用しながら、不動産会社等との連携も模索するなど、効率的な建物リノベーション事業継続のための仕組みづくりを行います。

★：取組主体のうち、中心となって事業を推進するリーダー役を示します。



(注)この図はイメージであり、実際とは異なる場合があります。

空き家等の活用に関する相談窓口のイメージ

エリアマネジメント株式会社を中心となって「リノベーション相談窓口」を設置し、利活用に困っている空き家等からの相談と、空き家等を店舗や住宅等として活用したい希望者からの相談を両面から受け付け、地域の課題解決に繋がるリノベーションとなるよう調整します。

■ エリアマネジメント会社を中心とした空き家活用のイメージ

困っている空き家オーナー…



空き家活用の相談

あつた宮宿エリアマネジメント
(リノベーション相談窓口)

もし、カフェを開きたいなら…



カフェへのリノベーションの相談

もし、住まいとして暮らしたいなら…



住宅リフォームの相談

空き家を、人口減少や賑わいづくりなどのまちの課題解決につながる形にリノベーションしていく

アクション②

旧東海道・美濃路のまちなみ景観向上の展開

概要

- 熱田神宮正門（南門）と七里の渡しを結ぶ旧東海道・美濃路を軸として、沿道建物のまちなみ景観への配慮と道路の再整備を双方合わせて取り組んでいきます。
- 熱田らしいまちなみ景観の形成に向けて、地元と行政が協議できる会議体をつくり、民地を中心に取り組む「まちなみ景観ガイドライン」や、地元合意を得た「道路景観の再整備方針」を策定し公開します。
- また、沿道住民による道路空間の緑化等の演出を行いやすくするためのルール作り等も併せて検討していきます。

主な取組

■まちなみ景観ガイドライン及び旧東海道・美濃路の道路整備方針の策定

[取組主体] あつた宮宿エリアマネジメント株式会社★、熱田湊まちづくり協議会
名古屋市観光文化交流局・住宅都市局・緑政土木局

- 歴史風情の感じられるまちなみ景観の実現への機運を高めていくとともに、住んでいる人、訪れた人が気持ちよくまちを歩けるように、沿道の建物側で配慮してほしい、無理なくできる範囲での行動指針等を示した景観ガイドラインを策定します。
- 道路改修工事等に合わせた石畳風舗装への改修や、歴史的まちなみを想起させる統一感のある街路灯等の設置など、地域としての道路景観の再整備方針を策定するとともに、沿道住民等が花壇づくり等に参加・協力しやすい仕組みをつくります。

★：取組主体のうち、中心となって事業を推進するリーダー役を示します。



(注)この図はイメージであり、実際とは異なる場合があります。

まちなみ景観ガイドラインでの「無理なく始められる取組」のイメージ

まちなみ景観ガイドラインは、熱田神宮や旧東海道の宮宿のあった歴史的背景や、伊勢久等の好事例を紹介するとともに、今からでも無理なく始められる範囲の取組について、具体的な行動指針として示します。

また、エリアマネジメント株式会社が取組む空き家等の建物リノベーション事業等の情報を提供するなど、実効性のあるガイドラインとしていきます。

■沿道住民の無理なく始められる範囲のイメージ



①自転車や洗濯物、ごみ箱等の道路側からの見え方に配慮する。

②植木等を配置するなど、景観づくりに協力する

③地域の清掃活動等に積極的に参加する

コラム

熱田神宮界隈の旧東海道・美濃路の図絵

熱田神宮正門（南門）と七里の渡しを結ぶ参道を描いた旧東海道・美濃路にはいくつかの図絵が残されています。これらの図絵の風情を意識しながら、旧東海道・美濃路のまちなみ景観の形成を考えていきます。

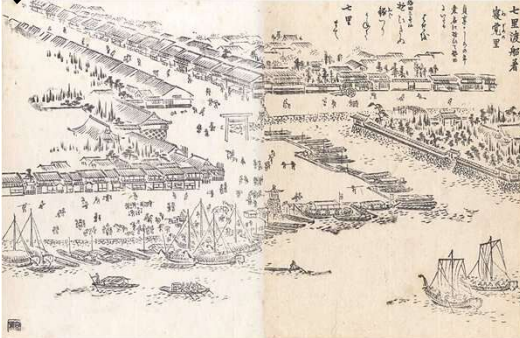
① 源大夫社(上知我麻神社)



③ 姥堂・裁断橋（尾張名所図絵）



② 七里の渡し(尾張名所図会)



コラム

旧東海道・美濃路の参道の理想イメージについて、ワークグループで出たアイデア

熱田神宮正門（南門）から七里の渡しにつながる旧東海道・美濃路について、将来的な道路の再整備と歴史的まちなみに相応しい民地側の対策を進め、官民連携したまちなみ景観の改善を進める必要があります

理想のイメージとして、旧東海道・美濃路の課題である、舗装面の老朽化や国道1号、国道247号での分断等を解消し、安全・快適な道路環境整備や花壇等の地域による道路管理等がされている。

■ 幹線道路での分断への対応イメージ

- ・横断部両側共通の植栽や街路灯等による視覚的連続性の確保
- ・可撤式中央分離帯の設置（視認性、イベント時等の連続性確保）



■ 旧東海道・美濃路の道路景観の整備イメージ

- | | | | | |
|------|------------|-----------|----------|----------------|
| [道路] | ・石畳風舗装への改修 | ・案内看板等の設置 | ・植栽の改修 | ・無電柱化(将来的に)…など |
| [沿道] | ・道路側的美観の維持 | ・花壇等による演出 | ・清掃・植栽管理 | ・建物改修(将来的に)…など |



(注)このページは、アクションプログラム策定のワークグループの意見をまとめたものです。実現を確約するものではありません。

テーマ3 賑わいを生む「舞台」と「担い手」づくり

(1) 実現に向けたロードマップ

- 熱田神宮を中心とした賑わいをエリア全体に広げていくための仕組みとして、堀川沿いにある宮の渡し公園、大瀬子公園などの都市公園を、熱田の歴史が感じられる空間として、また多様なアクティビティが体験できる場所として再整備しながら、新たな賑わいを生む舞台をつくり上げていくことが将来的に期待されます。
- この方向性に近づけるように、今後3年間のアクションプログラムの中で都市公園を活用した取組を通じて地域の機運を高めながら、また適切にまちづくりを進めるためのエリアマネジメント組織の仕組みをつくりながら、賑わいを生む「舞台」と「仕組み」づくりを進めていきます。

	令和8年度	令和9年度	令和10年度	取組主体
アクション① 熱田エリアの都市公園の一体的運営管理方針の策定	宮の渡し公園・大瀬子公園・神戸公園の運営管理方針の検討 (機能分担、必要設備、歴史的要素の検討など)		熱田湊エリア内の公園の一体的運営管理方針の策定	熱田湊まちづくり協議会 あつた宮宿エリアマネジメント株式会社 名古屋市
アクション② 水面及び公園の活用イベントの推進と担い手育成	水上イベント・クルーズ等の継続・拡充 (定期開催時の課題の整理) イベント等での公園設備、船着き場等の有効活用に関する調整・試行	公園等活用の方針の提案	水上イベント等の定期開催への移行	NPO法人堀川まちネット 水辺とまちの入口ACT株式会社 名古屋市
		伴走支援による担い手の発掘・育成の開始 (利用手続きの支援、ノウハウ提供等)		

令和10年度末に実現したいこと

- ① 宮の渡し公園・大瀬子公園・神戸公園の運営管理方針（歴史的建造物等の復元に関する方針含む）
- ② 水面・公園を活用した定期イベントの開催
- ③ 伴走支援による担い手の発掘・育成の開始

(2) 公共空間・エリアマネジメントの未来のイメージ

- 公園や道路、公共施設などの主な公共空間の積極的な活用を進めながら、将来的に地域が主体的に公園や道路の活用・管理を行ったり、堀川でつながる公園や公共施設を活かした定期イベントの開催など、地域主体のまちづくりを実現できるよう、取組を進めていきます。
- 一方で現状において、公園間の繋がりが薄い状況や、公園や道路でのイベント開催時の制約や申請手続きの複雑さ、新たな担い手の発掘・育成の困難さなどの課題も散見されます。
- そのため、まずは既存のイベントを継続・発展していく中で現在の課題を明確化し、改善を図っていくための取組を進めていきます。

令和8年度 令和9年度 令和10年度 令和11年度 令和17年度

アクションプログラム (3年間)

ビジョン最終年 (概ね10年後)

【イメージ】

都市公園を活用したイベント等の取組が始まっている状態【具体事業】

【具体事業】

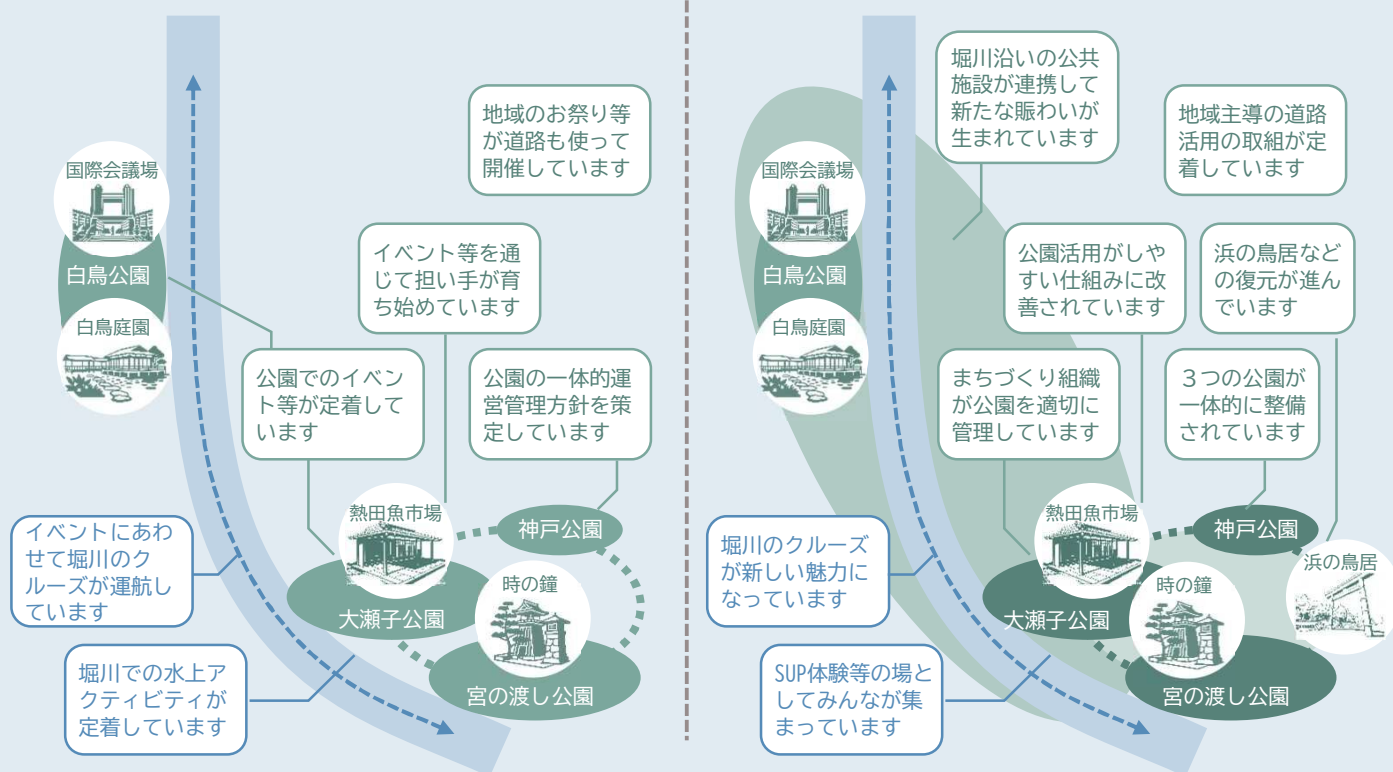
- ①宮の渡し公園・大瀬子公園・神戸公園の一体的な運営管理方針の策定
- ②水面・公園を活用した定期イベントが定着
- ③新たな担い手と連携したイベントがいくつかスタート

【イメージ】

イベント等の取組を受けて、地域で都市公園の活用の気運が高まり、ハード整備を含めた取組が進んでいる状態

【具体事業】

- ①都市公園活用の方向性を踏まえた公園でのインフラ整備が進行
- ②歴史的施設の復元がいくつか進んでいる状態
- ③都市公園等を活用したイベント等の定着
- ④エリアマネジメント組織による主体的な公園運営



(注)この図は各段階での未来のイメージを示したものであり、具体的な実施を確約するものではありません。

アクション①

熱田エリアの都市公園の一体的運営管理方針の策定

概要

- 宮の渡し公園、大瀬子公園、神戸公園等の堀川沿いの公園を一つの大きな公園と捉え、適切な機能分担と機能に応じたインフラの整備について、具体的な必要機能や施設配置等を検討します。
- 公園の再整備に合わせて、歴史的要素の導入についても検討します。

主な取組

■熱田湊エリア内の公園の一体的運営管理方針の策定

[取組主体] あつた宮宿エリアマネジメント株式会社★、熱田湊まちづくり協議会、名古屋市住宅都市局・緑政土木局・観光文化交流局・教育委員会、熱田区役所

- 熱田湊まちづくりビジョン等に位置付けている熱田湊内の公園の一体的な運営管理に向けて、各公園の機能分担や必要なインフラの検討・整備のあり方などを含めて、具体的な運営管理方針を策定します。
- 建造物の復元等について、公園の再整備等に合わせて調整します。

★：取組主体のうち、中心となって事業を推進するリーダー役を示します。



(注)この図はイメージであり、実際とは異なる場合があります。

熱田湊まちづくりビジョンでの公園再整備イメージ

宮の渡し公園、大瀬子公園については、令和4年策定の「熱田湊まちづくりビジョン」の中で具体的な再整備イメージが提案しています。

既存の公園施設を活用しながら、歴史的建造物の復元や公園間をつなぐ遊歩道が示されています。

■宮の渡し公園の再整備イメージ（熱田湊まちづくりビジョンより）



アクション②

水面及び公園、道路の活用イベントの推進と担い手育成

概要

- 堀川を使ったSUP体験など水上アクティビティや、船舶でのクルーズ、道路を活用したお祭りなど、非日常を体験できるスポットとしての定着を見据えて、現在個別に開催しているイベント等の定期開催を検討します。
- また、まちづくり組織が協力することで、水面や公園、道路を活用したイベント開催に誰もがチャレンジできるような仕組みづくりを検討します。

主な取組

■水面・公園を活用したイベントの継続実施・拡充

[取組主体] NPO法人堀川まちネット★、水辺とまちの入口ACT株式会社、名古屋市住宅都市局・緑政土木局

- 個別に開催してきたイベント等（堀川まつり・堀川一斉大そうじ・熱田ぐるりんウォーキング・七里の渡し船旅・宮の浜おどり等）の定着に向けた定期イベント化に取り組めます。取組を進める中でイベントの継続や拡充に取り組みやすい形への仕組みづくりを検討します。

■水面・公園・道路を活用したイベント等の担い手育成の仕組みづくり

[取組主体] 水辺とまちの入口ACT株式会社

- イベントを開催してみたい人等がチャレンジしやすい仕組みをつくり、新たな担い手の発掘や育成に資する取組を推進します。
★：取組主体のうち、中心となって事業を推進するリーダー役を示します。



(注)この図はイメージであり、実際とは異なる場合があります。

堀川ならではのイベント・アクティビティの紹介

堀川沿いの公園や親水空間、船着き場などを使って、様々な活動団体が取組を行っています。堀川や公園、道路を活かして楽しめるイベントやアクティビティの一部を紹介します。



白鳥公園の親水空間を使ったイベント「水辺とまちル？」を令和7年11月に初開催するなど、公園と水辺を組み合わせた取組を行っています。

かつて行われていた「熱田天王祭」を復活させようと、まきわら船や大山（山車）を再現し、道路や公園での引き回しを行っていました。



コラム

熱田エリアの理想のイメージについて、ワークグループで出たアイデア

- 公共空間の活用に関するアクションプログラムを作成するにあたり、令和7年度にワークショップを開催しました。
- ワークショップでは、地域内の公園活用や堀川の水面活用、エリア全体の魅力化など「理想形」を話し合い、多様な未来のイメージを提案しました。
- ワークショップでのイメージをまとめています。



きれいな堀川沿いで、
様々なアクティビティ
体験が楽しめる公園が
できている



- SUP・カヌーなどの水上アクティビティの場として定着している
- 親水空間として、堀川にアクセスしやすい環境がつけられている
- 水上ステージでのコンサート、水上サウナなど多様な使い方ができる環境が整っている
…など

堀川や公園が熱田エリ
アの魅カスポットとし
て定着し、多くの人が
訪れている。



- 堀川でつながる公園が一体となり、新たな憩い・賑わいの舞台となっている
- 浜御殿、浜の鳥居などの歴史的資源が復元されている
- 着付けなどの歴史体験ができ、復元された歴史風情の中で非日常が楽しめる
- 公園の再整備が進み、堀川につながる親水空間になっている
…など

観光でも、日常でも、
堀川をつかって移動し
たり、楽しむことがで
きる



- 七里の渡しからの舟運が、観光・クルージングや、日常の移動手段として浸透している
- 水上レストランなどが気軽に楽しめる場として定着している
- 堀川沿いの遊歩道が整備され、連続したライトアップ等の演出されている
- 七里の渡しを起点に名古屋城や名古屋港などとつながっている
…など

「活動したい」と思っ
た人が、気軽にチャレ
ンジできる仕組みがで
きている



- 地域のまちづくり団体等のサポートで多様なイベントがいつも行われている
- キッチンカーや仮設の店舗等で気軽に出店できる環境にある
- イベントがしやすいインフラが整っている（電気、水道など）
- まちづくり団体が中心となり公園管理しながらサポートができる
…など

熱田エリアの魅カス
ポットを中心に、まち
の色々な場所で楽しめ
る環境ができている



- 国際会議場、中央卸売市場本場周辺、断夫山古墳等の魅カスポットにつながる道路や遊歩道が整備されている
- 色々な店舗や施設がまちに点在していて、散策が楽しい環境になっている
- 安全で快適に歩きやすい生活道路がつけられている
…など

(注)このページは、アクションプログラム策定のワークグループの意見をまとめたものです。実現を確約するものではありません。

3. 熱田神宮周辺のまちづくり推進体制

(1) まちづくりの推進体制

- 熱田のまちづくりは、アクションプログラムに基づきPDCAを回す「熱田神宮周辺エリアプラットフォーム」と、事務局として各主体と連携し事業を具現化する「あつた宮宿エリアマネジメント株式会社」が、両輪となり推進します。

熱田神宮周辺エリアプラットフォーム

熱田エリアでまちづくりに取組んできた団体や企業、学校等が集まり結成した組織であり、まちづくり全体の方向性を定める。

■主な役割

- ①熱田エリアでのまちづくりの方向性を決定する
- ②まちづくりの取組を評価し、対応を検討する
- ③まちづくりの方向性に応じて地元の合意形成を図る
- ④エリアマネジメント株式会社の事業運営を確認する

■構成メンバー（令和8年3月時点） ※五十音順

- 熱田神宮駅前地区まちづくり協議会
- 熱田湊まちづくり協議会
- あつた宮宿エリアマネジメント株式会社（事務局）⇨
- あつた宮宿会
- イオンモール熱田
- 株式会社MTG
- 東海旅客鉄道株式会社
- 独立行政法人 都市再生機構 中部支社
- 学校法人 名古屋学院大学
- 公益財団法人 名古屋観光コンベンションビューロー
- 名古屋市
- 名古屋商工会議所
- 名古屋鉄道株式会社
- NPO法人 堀川まちネット
- 水辺とまの入口ACT株式会社

あつた宮宿エリアマネジメント株式会社

事務局としてエリアプラットフォームでの検討を推進するとともに、都市再生推進法人※としてまちづくりに資する取組を実行していく。

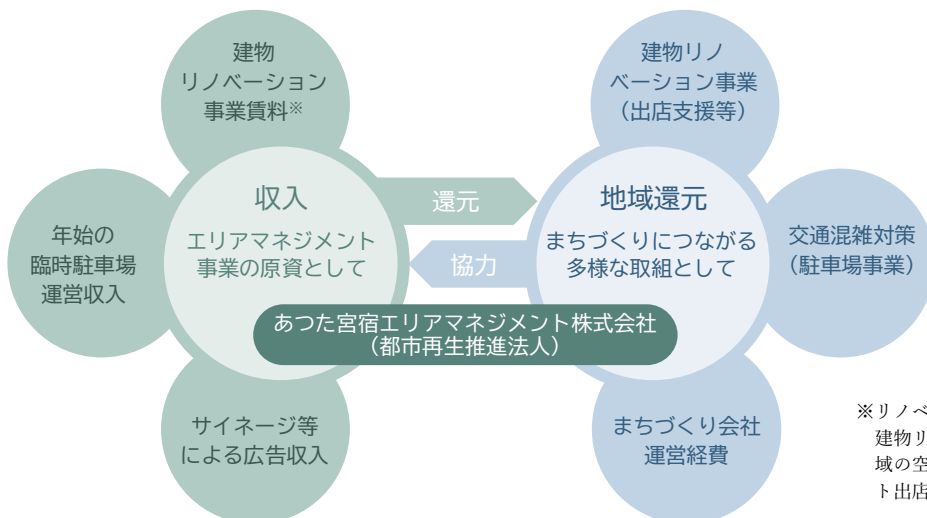
■主な役割

- ①エリアプラットフォームの事務局としてプラットフォームでの検討を推進する
- ②まちづくりに資する取組を提案し、都市再生推進法人として実行する
- ③市に対して新たな都市再生整備計画（案）を提案する

※都市再生推進法人制度：まちづくりを推進することを目的とする団体に対して、公的な位置づけを与えることにより、まちづくりの担い手として活動を支援する制度

(2) あつた宮宿エリアマネジメント株式会社の所掌業務

- 熱田宮宿エリアマネジメント株式会社は令和8年初頭での名古屋市 都市再生推進法人の指定を受けるための申請を進めています。
- 都市再生推進法人の指定を受けて、エリアマネジメントの原資となる収益事業を展開しながら、一方でまちづくりに資する取組を進めていきます。



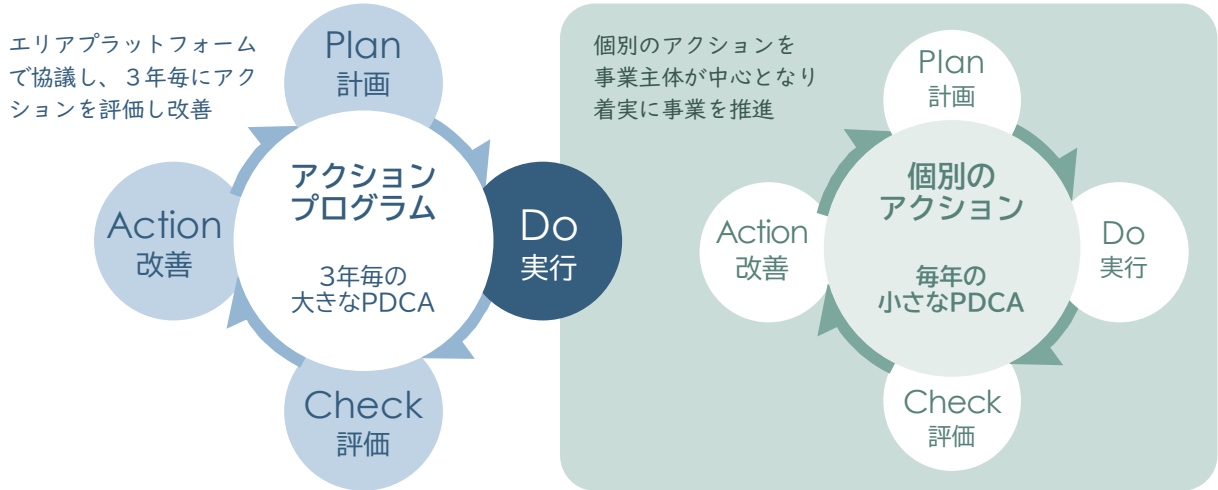
※リノベーション事業仲介費：
建物リノベーション事業に基づく地域の空き家等の活用に関するテナント出店者等からの賃料を想定

4. アクションプログラムの進捗管理

*PDCAサイクルとは：計画(Plan)・実行(Do)・評価(Check)・改善(Action)を繰り返す、業務改善の枠組みのことです。

(1) PDCAサイクル*によるアクションの推進

- 未来ビジョンに基づく3年毎のアクションプログラムによる大きなPDCAと、アクションプログラムに位置付けた個別のアクションの毎年の小さなPDCAの2つのサイクルで進めていきます。
- 小さなPDCAは各アクションのリーダー役が先導し、毎年のサイクルで課題を見つけ、改善し翌年に繋げていきます。



(2) アクションプログラムの推進スケジュール

- 未来ビジョンの実現は、3年毎のアクションプログラムの評価・改善を図る中で、個別のアクションについては毎年、アクションプログラムに基づき実行し、評価し、必要に応じて改善を行いながら、常に時流に合わせた更新を行っていきます。
- そのための実働組織として設立したあつた宮宿エリアマネジメント株式会社について、都市再生推進法人の指定を受けて、公共空間の活用も含めたエリアマネジメントを推進していきます。

年度→		R7 1年目	R8 2年目	R9 3年目	R10 4年目	R11 5年目	R12 6年目	R13 7年目	R14 8年目	R15 9年目	R16 10年目	R17 以降～	
Plan 策定	未来 ビジョン	未来ビジョン (2025年3月策定) ※計画期間 約10年											※10年後の状況を踏まえつつ、まちづくりを継続
	アクション プログラム	短期 (2026年3月策定)			中期				後期				
Do 実行	個別 アクション	実行 →											
Check 評価		→											
Action 改善		取組ごとに必要に応じて改善を図る											
まちづ くり体 制		都市再生推 進法人の指 定・活動	株式会社 設立	推進法 人指定	公共空間を含めたまちづくりの展開								
	都市再生整 備計画(案) の提案	都市再生整備計画(案)の提案 ※必要に応じて適宜更新を提案											

熱田 待君
つを
まち



atsuta
brand
japan

熱田神宮周辺まちづくり未来ビジョン(別冊)
令和8年度～10年度 アクションプログラム

制作・発行 熱田神宮周辺エリアプラットフォーム

発行日 令和8年3月

ホームページ <https://atsuta-am.com/ap/>

※本書の無断転載、複製、二次利用を禁じます。

